

令和4年4月

# 魚津市定例記者会見



日時：令和4年4月1日(金) 午後1時30分～午後2時00分

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、NHK、KNB、NICE-TV、ラジオミュー

市当局出席者：市長、情報広報課長

## 1. 市長からの発表事項

### (1) 魚津テクノスポーツドームメインアリーナ大規模改修工事完成記念事業の開催について

- ・メインアリーナ改修工事については、3月30日の完成内見会にマスコミの方にも参加いただき、既に報道もしていただいている。完成記念事業は、4月8日から9日にかけて元バレーボール日本代表の山本隆弘さんを招いて一連のイベントを開催する。山本隆弘さんはパナソニックパンサーズに所属し、北京オリンピックに出場した元選手。魚津市は令和2年7月にパナソニック(株)企業スポーツセンターと連携協定を締結し、うおづスポーツコミッションにも参加していただいております、今回もその一連のイベント。
- ・4月8日(金)の18:00～20:00はメインアリーナで山本隆弘さんのトークショーを開催する。
- ・4月9日(土)は9:00から同じくメインアリーナで記念式典を開催し、チアリーディング演舞などが披露される。引き続き15:00まで、山本隆弘さんによるバレーボールクリニックが開催され、バレーボールスポーツ少年団のメンバーや中学校のバレーボール部員が参加する予定。

### (2) 世界最大のかまぼこモザイクに挑戦！

- ・4月10日(日)の10:00からミラージュランドで開催。縦7.0m×横7.2m (50㎡)の巨大なキャンバスに「かまぼこ」を敷き詰めて、鯛をイメージした「かまぼこモザイクアート」を作る取り組み。当日はギネス世界記録公式認定員による審

査・結果発表を現地にて行う。使用するかまぼこは1個ずつ真空包装され、冷蔵車や蓄冷剤等により保冷状態を保つ。また、挑戦で使用したかまぼこは、参加者及び協賛企業におすそ分けとして提供されるほか、4月19日(火)に魚津市内の小中学校等の給食で提供される。

(3) 富山湾岸サイクリング2022

- ・4月17日(日)に魚津市をメイン会場(発着点)として開催される。今年で通算8回目だが、昨年5月にナショナルサイクルルートに指定を受けた後としては初めての開催となる。魚津市としての開催は5年前の第3回以来の2回目となる。
- ・6:30に180キロコースがスタートし、7:00に130キロコース、開会式を挟んで、8:00に80キロコース、8:15にファミリーコースがスタートする。総エントリー人数は1,373人。うち県内は約800人、県外は600人弱。参加者は前回の魚津市開催時より多くなっている。
- ・開催地として市内の事業者の協力を得ながら「おもてなしブース」を開設する。また、参加者には当日利用可能な市内入浴施設の割引券も配布する。運営についてはコロナ対策に配慮した動線を確認するなど、しっかりと行っていきたい。

(4) 魚津の農林水産業 体験・応援プロジェクト ～親子体験会の参加者募集を行います!～

- ・令和3年度に開催し非常に好評であったため、引き続き内容を一部充実させて今年度も開催する。農林水産業の5つの柱(くだもの、やさい、田んぼ、木材、さかな)で7つの体験コースを設ける。地元産木材のコースは5月に開催される新川森林祭(全国植樹祭5周年記念イベント)に合わせての開催となっている。また、夏と冬には7コースの参加者等を対象とした特別体験会を開催予定。

(5) 魚津市電子地域通貨 MiraPay チャージ額にあわせてコイン還元(第1回)を開始します。

- ・今年度のチャージキャンペーンの第1弾。チャージ額の1%をコインとして利用者に還元し、チャージ取扱店にもチャージ額の0.5%を手数料として還元するもの。還元の目安としている300万円を1.5%(1%+0.5%)で割り戻すと2億円となり、その額がすべてチャージ&使用された場合の経済効果の額となる。
- ・ふるさと納税の一部をコイン還元のための財源として確保することで、地域内の消費喚起の取り組みを安定的に行なえるようにしていく。

## 2. 質疑応答の内容

### 「市制施行70周年の新年度」について

#### 《記者からの質問》

市制施行70周年となるこの年度をどのような年にしたいか。

#### 《回答》（市長）

コロナの感染が収まらない中で市制施行70周年の一連の行事がはじまっていくため、状況を確認しながらうまく進めていきたい。その中で、従来からの取り組みについては伝統を活かしながら進め、さらに新しい取り組みに挑戦していきたい。魚津市は人口減少が止まらないため、その現状を見据えて対策の取り組みを強化していきたい。

### 「市長任期2期目の前半が終了したこと」について

#### 《記者からの質問》

市長の2期目の任期の前半を振り返っての感想と後半についての抱負を聞きたい。

#### 《回答》（市長）

まさにコロナ対策に全力で取り組み、同時に財政の立て直しに取り組んだ。コロナについては市だけではどうにもならないので、国や県と連携し、市民に安心してもらえる取り組みや市内経済が倒れないようにする対策をスピーディーに行ってきた。未来へ向けては、財政の健全化の目標を達成すると同時に夢や希望を持ってもらえる取り組みに踏み出したい。具体的には市庁舎や県内唯一の水族館（の建設）など。市民の皆さんに夢を持ってもらえるような取り組みを進めていきたい。

### 「滑川市と黒部市の市長の交代」について

#### 《記者からの質問》

滑川市の市長が2月に交代し、黒部市も今月交代する見込みであるが、両隣の市との連携についてはどう考えているか。

#### 《回答》（市長）

両隣の市との連携は重要と考えている。特に観光と交通の面について。人口減の時代であるため、効率的な運営を考えていく必要がある。黒部市の黒野市長とは新川広域圏の会合等で話す機会があったが、滑川市長とはなかなか話す機会が無かった。水野滑川市長とは観光面などを含め積極的に連携について話を進めたい。

## 「富山湾岸サイクリング2022」について

### 《記者からの質問》

おもてなしブースは何時頃から開設されるのか。また、市長はサイクリングに参加するのか。

### 《回答》（市長）

おもてなしブースはゴールに合わせて開設するため、最初にゴールするコースの時刻に間に合うように開設する。サイクリングには開会式に出席した後にスタートするコースで参加する予定。